

学習課題（小学校 5 年生）



【国語】計画を立てて、少しずつ取り組んでいきましょう。

＜学習内容＞

◆「日常を十七音で」（教科書 60～63 ページ）に取り組めます。

(1) 教科書 60～61 ページを読み、次の言葉の意味を見つけてノートや取組シートに書きましょう。

- ・俳句…（^{はいく} ）で感動を伝える。
- ・季語…（ ）言葉。

(2) 俳句は五・七・五の十七音で作ります。教科書 60 ページにある二つの俳句を声に出して読み、五音・七音・五音で言葉を区切ってみましょう。また、季語を丸で囲みましょう。

(3) 俳句を作るための材料を集めます。自分の生活の中（最近のことでもよいです）で、気付いたことやおどろいたこと、感動したことや心に残ったことを、ノートや取組シートに書き出していきます。（文章でも、短い文や言葉でもよいです。）

(4) (3)で書き出した文や言葉をもとに俳句を作って、ノートや取組シートに書きましょう。

※作れそうであれば、たくさん作ってみるのもよいですね。

(5) 右の三つの俳句を読み比べましょう。AやBよりも、Cの俳句はより表現が工夫されています。教科書 62 ページを読んで、俳句の表現を工夫するポイント①②③を確かめましょう。

雨の歌 あじさいたちが おどります	あじさいが 雨の歌で おどります	雨の中 あじさいたちが ゆれている
＜C＞	＜B＞	＜A＞

(6) (5)で確かめた工夫を生かして、(4)で作った自分の俳句を見直して、完成版をノートや取組シートに書きましょう。

◆新出漢字「舎」～「績」をノートや取組シートに練習します。

※読み方や筆順などは、教科書 288 ページに載っています。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・(3)で題材を決められず困っている場合には、教科書 P61 の□の例や季語の例を基にして、俳句の材料を一緒に探してあげてください。
- ・文部科学省「子どもの学び応援サイト」で紹介されている NHK for School では、俳句の学習に関する動画番組（番組名「お伝と伝じろう」第 8 回「今日は句会」）が配信されています。視聴し、内容を参考にしながら学習を進める方法もあります。